

施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票（集団・迅速）の作成及び更新情報

2013. 07. 28 ○ 「災害時公衆衛生歯科機能について考える盛岡ワークショップ」開催（盛岡市）
○ 行政、大学、歯科医師会関係者等 20 名参加
○ 避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）の必要項目について検討
2013. 09. 28 ○ 続・盛岡ワーク「災害時避難所等口腔保健アセスメント標準化を考えるワークショップ」開催（横浜市）
○ 行政、大学、歯科医師会関係者等 18 名参加
○ 避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）の素案をもとに各項目の内容について協議
2013. 09. 29 ○ 電話、電子メール等による調整（暫定案作成に向けて）
～10. 17
2013. 10. 17 ○ 避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）暫定案 Ver. 1.0 の作成
2013. 12. 13 ○ 暫定案から暫定版に格上げ。併せて Ver. を 1.0 から 1.1 に更新。
○ 更新箇所
- ・ アセスメント票の名称
「避難所等歯科口腔保健アセスメント票（標準化レベル 2）」
→ 「避難所等歯科口腔保健 **標準アセスメント票（レベル 2）**」
 - ・ **左余白の拡大**（綴じ代を確保するため）
 - ・ 右上隅に「**No.**」欄の追加（整理番号記入欄）
 - ・ 項目(4)の項目の名称
「(1)の口腔清掃ができていますか」→ 「(1)の**者の口腔清掃状況**」
 - ・ 項目(4)の確認項目 d の名称
「障害児者・要介護者の介助」→ 「障**が**い児者・要介護者の介助」
 - ・ 項目(6)の確認項目 b の名称
「巡回歯科チーム」→ 「巡回歯科チーム**への受診**」
2015. 01. 31 ○ 暫定版から正式版に格上げ（暫定版をとる）。併せて Ver. を 1.1 から 2.0 に更新。
○ 更新箇所
- ・ 「Ver.」の記載を下端右に移動し、「災害時公衆衛生歯科機能を考える会 **標準 Ver. 2.0**」とする。

- ・ 避難所名（施設名）→避難所等の名称（用語の統一）
- ・ 避難者数→避難者等の人数（用語の統一）
- ・ 責任者氏名→避難所等の責任者氏名（避難所等の責任者氏名欄であることを明確にするため）
- ・ 評価時在所避難者数→評価時在所避難者等の人数（用語の統一）
- ・ 評価時在所避難者数の記入欄を右揃え（記入スペースを確保するため）
- ・ 情報収集法の項目
「避難者からの聞き取り」→「避難者等からの聞き取り」（用語の統一）
- ・ 項目(1)の確認項目 a の名称
「乳幼児」→「乳幼児（就学前）」（区分を明確にするため）
- ・ 項目(1)の特記事項「※再確認！」の削除（再確認の意味がわかりにくいので、再確認の意味は記入例に記載することとする）
- ・ 項目(4)の項目の名称
「(1)の者の口腔清掃状況」→「口腔清掃状況」
「(1)の者の」の削除（避難者全体の評価をするため）
- ・ 項目(5)の確認項目 a～c の選択肢
1 いない, 2 いる（約 人）, 3 不明
↓
1 いる（約 人）, 2 確認できない
- ・ 項目(6)の確認項目 a の名称及び選択肢
「a 歯科診療所や仮設歯科診療所への受診」 1 容易, 2 不便*, 3 施設ない, 4 不明
*（具体的に： ）
↓
「a 受診可能な近隣の歯科診療所・歯科救護所・仮設歯科診療所等」
1 あり, 2 ない, 3 不明
- ・ 項目(6)の確認項目 b の名称及び選択肢
「b 巡回歯科チームへの受診」 1 容易, 2 不便*, 3 巡回ない, 4 不明
*（具体的に： ）
↓
「b 巡回歯科チームの訪問」 1-①あり(定期的), 1-②あり(不定期),
2 ない, 3 不明
(項目(6)の確認項目 a, b において補足が必要な場合は、特記事項に記載することとする)
- ・ 下端中央に「(〇〇県・〇〇県歯科医師会)」を追加
- ・ 本票裏面に、「本アセスメント票を活用する前の確認事項」を追加

2015. 04. 01 ○ 2015 年 4 月 1 日に日本災害時公衆衛生歯科研究会が発足したことに伴う更新及びその他（アセスメント項目以外）の一部更新。アセスメント項目の更新はないことから Ver. の変更なし。

- 更新箇所
 - ・ 本アセスメント票の表面・裏面の作成機関名
「災害時公衆衛生歯科機能を考える会 標準 Ver. 2.0」
↓
「**日本災害時公衆衛生歯科研究会** 標準 Ver. 2.0」
 - ・ 本アセスメント票の表面・裏面の「(〇〇県・〇〇県歯科医師会)」に「〇〇県歯科衛生士会」を追加
「(〇〇県・〇〇県歯科医師会)」
↓
「(〇〇県・〇〇県歯科医師会・**〇〇県歯科衛生士会**)」
- 2016. 07. 30 ○ 横浜ワーク「災害時避難所等口腔保健アセスメント標準化を考えるワークショップ」開催（横浜市）
 - 行政、大学、歯科医師会関係者等 28 名参加
 - 標準アセスメント票 Ver. 2.0 について、熊本地震での活用結果を基に検証更新内容について検討
- 2017. 05. 31 ○ 第 66 回日本口腔衛生学会総会（山形）のミニシンポジウム 5 「災害時の歯科保健医療体制をめぐって～平成 28 年熊本地震等を受けて～」において、標準アセスメント票の改訂案（Ver. 3.0 案）について発表
- 2017. 06. 12 ○ 日本災害時公衆衛生歯科研究会のホームページにて、「避難所等歯科口腔保健～標準アセスメント票（レベル 2）Ver3.0（案）」の意見募集
- 2017. 07. 15 → 意見件数 0
- 2017. 08. 22 ○ Ver. を 2.0 から 3.0 に更新。
 - 更新箇所
 - ・ アセスメント票の名称
「避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票（レベル 2）」
→ 「**施設・避難所等歯科口腔保健 標準アセスメント票（レベル 2）**」
 - ・ 避難者等の人数→避難者等の人数（**夜間を含む**）（避難者等の人数が、夜間に避難している者も含むことを明確にするため）
 - ・ 評価年月日→評価年月日（**曜日**）（曜日を明確にするため）
 - ・ 「西暦 20 年 月 日」→「**年 月 日（ ）**」（西暦の削除、曜日の挿入）
 - ・ **欄外下の「簡易評価の定義」を削除し、項目(2)～(6)の簡易評価の選択肢に定義を追加**（簡易評価の基準をわかりやすくするため）
 - ・ 簡易評価の選択肢「○」の定義
（ほぼ良好、ほぼ問題なし）→（**概ね良好、概ね問題なし**）
 - ・ **項目(3)の確認項目 f と項目(5)の確認項目 c の削除**（確認項目数の整理のため。記録が必要な場合は、特記事項欄または「その他の問題」の欄に記載することとする）

- ・ 項目(5)の確認項目 a、b の選択肢 （「確認できない」の定義は、「いない」または「わからない」であるが、わかりにくいことから修正する）
 - 1 いる（約 人）, 2 確認できない
 - ↓
 - 1 いる（約 人）, 2 いない, 3 不明
- ・ 「その他の問題」の具体例を明示（具体例を示して記載しやすくするため）
 - 「具体的に：」
 - ↓
 - 「例）歯科保健医療に関するその他の事項、避難所のインフラ・衛生状況等に関する事項、医師や保健師等他チームに伝達すべき事項」
- ・ 本票裏面の「避難所等」、「避難所」の一部（アセスメント票の名称変更に合わせて一部修正する）
 - 「避難所等」、「避難所」→「施設・避難所等」、「施設・避難所」

- | | |
|-----------------|--|
| 2018年
7月30日 | 平成28年熊本地震での活用を受けてのアセスメントの改訂に関するワークショップを開催（神奈川県歯）→検討から、書きにくい、書き漏らしが多い項目を修正 |
| 2018年
10月7日 | 西日本豪雨（6月28日～7月8日）後の経験
統一書式・方針に関する検討会
過去の災害からの検証、今後の災害歯科の体制のありかた、推進の方向性
* レベル2アセスメント票を活用した報告（太田）
* スフィアスタンダードなどを参考に作成した、5段階評価の参考とする評価基準の記載の提案
* 新しい個別複数アセスメント票などの様式提案（中久木） |
| 10月10日 | 研修会用として、左に記載したあと、右に評価を記載する形として流れを変更した案を作成し、その後試用 |
| 2019年
9月21日 | 集団アセスメント票の改訂について議論（医科歯科） |
| 10月9日 | 日歯災害WGにて改定案を検討課題として議論 |
| 10月11日 | 役員MLにて提示、意見募集 |
| 2020年
12月17日 | 役員もしくは研修会にて意見として出た下記3つに対する対応を役員MLにて提示、協議 →反対意見は0
1) 連絡先は「記載者の」連絡先なのか、「避難所管理者の」連絡先なのか
→ 連絡先は記載者のが書いてあることが重要と思われる
2) 他職種に見せた時に、こんな細かいことはできないと言われる
→ 他職種に、5種類の「○△×」だけをつけてくれればいい、とわかるようなものを、内容は同じまま順番を変えてつくりなおした |
| 1月22日 | 「施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票（集団・迅速）」と名称 |

変更し、日歯災害 WG に提示

- 2月6日 「施設・避難所等 歯科口腔保健 ラピッドアセスメント票（集団・迅速）日本歯科医師会統一版」、が制定された
- 2024年 令和6年能登半島地震（1月1日発災）に対しては、石川県に対して全国からの JDAT
2月2日 派遣が1月18日から3月20日まで行われた。この中で認められた記載上の問題点
に対応し、表現を改めるなどして Ver. 4.1 と更新した。
- 1) 基本情報の「避難所等の避難所等の責任者 氏名 連絡先」においては、責任者が明確でない場合もあり、交代制や民間の方である場合もあり、記載が難しいとの声があった
→ 「避難所等の連絡先 ※必要時担当者氏名も記載」と表記を改めた
 - 2) 評価項目の「(3) 口腔清掃用具等の確保」において「2不足」があった場合には、「特記事項」に評価の際に補充したのか、追って補充が必要なのかの記載するように定めて研修等では伝えているが、記載が無いものが多く支障をきたした
→ 「特記事項」に「※不足物品を補充した場合は、ここに記載」とガイドを追記した
 - 3) 評価項目の「(5) 歯や口の訴え義歯の問題食事等の問題」において「1いる」があった場合には、「特記事項」にその詳記や評価時の対応について記載するように定めて研修等では伝えているが、記載が無いものが多く支障をきたした
→ 「特記事項」に「※要対応者の詳細情報（応急対応した場合はあわせ記載）」とガイドを追記した
 - 4) 評価項目の「(4) 口腔清掃や介助等の状況全体状況」の「a 歯磨き」を、「a 歯みがき」と表記を改めた
- 2025年12月11日 災害時に保健・医療・福祉に関する情報を集約・共有・分析し、支援活動を最適化するための統合情報システムである D24H(Disaster Digital Information System for Health and Well-being) への「口腔保健アセスメント」の掲載のため、D24H の表現にあわせてタイトル・選択肢などを修正し Ver. 5.0 とした。
- * 選択肢の詳細な項目が D24H に掲載されているため、アセスメント票「概略版」は廃止した。総括表も、全項目が掲載されているものを基本としたが、集計時の必要性を鑑み、総括表<概観版>は残した。
 - * 裏面の説明文書においても「保健医療福祉調整本部」「災害歯科対策本部（JDAT本部）」等と表現を更新し、今後、本部からの指示があれば D24H への入力も担う可能性があることについても言及した。
 - * 項目や選択肢の表現は概ね D24H にあわせてしたが、理解しやすさや選択のしやすさのために、補足の表現や選択肢は残した。運用としては「現場では紙のシートに記載したうえで、まとめてシステムへの入力」となり、自由記載部分も含め、本票の方が D24H より情報が多くなっている。
- 2026年1月 Ver5.0 の体裁のバランスを整え「(1) 歯科保健医療の確保」の特記事項に記載ガ

9日 イドとなる補足コメントを追記し、Ver. 5.1 と更新した